

# 平成 21 年度情報セキュリティセミナー参加報告

鬼頭 良彦、大下 弘、佐々木 康俊  
工学系技術支援室 情報通信技術系

## はじめに

2010 年 2 月 10 日に文部科学省が開催した「情報セキュリティセミナー」に参加しました。プログラムは以下のとおりです。これらの講演は 2010 年 3 月 1～31 日の期間はストリーミング配信されました。

開会の挨拶	坪井 裕	大臣官房政策課長
基調講演 「グローバル情報社会における日本の情報セキュリティ」	村井 純	慶応義塾大学 環境情報学部長
「教育・研究機関等のためのセキュリティ知識 ーインシデントに学ぶー」	高橋郁夫	弁護士，IT 法律 事務所主宰
「実務者からみた情報セキュリティマネジメント事例 ー組織における効果的な 情報セキュリティマネジメントとは？ー」	角熊 登	広島大学社会連 携・情報政策室
「PDCA サイクルの中での「C」(評価)の果たす役割」	石井秀明	有限責任監査法 人トーマツ
閉会の挨拶	青木利根男	国立情報学 研究所

## 1. 講演概要

### 1) 「グローバル情報社会における日本の情報セキュリティ」

インターネットの黎明期から今日までのネットワークやコンピュータの発展を紹介されたうえで、情報セキュリティとは秘匿性・完全性・可用性を維持することであり、それを侵害する情報リスクは資産×脅威×脆弱性で表されるとの説明があった。

今後の対策としてグローバルとローカル、官と民を上下左右に位置付け、それぞれにおける対策の調和が必要であり、例としてグローバルと官の間では国際ルールや連携、法やガイドラインの整備、グローバルと民の間では技術やサービスの向上、ローカルと官の間では法執行や規範、ローカルと民の間では対策や実践、倫理や教育が必要であると説明された。

### 2) 「教育・研究機関等のためのセキュリティ知識」

弁護士の観点から実際におきた事件を例に取って、最近のインシデントの傾向、インシデントが起きた場合の対応方法等が紹介された。

インシデントの傾向については以前は自己顕示欲や個人攻撃等の個人レベルの問題であったが、現在は国境を越えた組織による金銭目的の犯罪が多くなってきているとの報告があった。また、近年のインシデントでは情報漏洩が世間の注目を浴びるので組織としての対応が必要であるということで次の要点が紹介された。①正確な事実調査（いつ、何が、どれだけ、どこから、どこに、なぜ）、②発見と報告（初動対応に移行すべきかの判断）、③初動対応（具体的対応方法の決定）、④開示（関係者、主務官庁、マスメディアへの報告）、⑤抑制措置及び復旧（被害拡大防止、被害回復）、⑥事後対応（原因究明、再発防止策の立案）

### 3) 「実務者からみた情報セキュリティマネジメント事例」

広島大学での情報セキュリティ組織の設立・運用までの経由を実際の担当者から紹介があった。

広島大学では法人化後、副学長が情報担当となり、全学的にセキュリティを維持・管理する組織体制を構築、文書等を含めたセキュリティ実施手順書の作成等を行った。セキュリティ教育においては大学独自の教材を開発し、その教材を使った試験制度の導入によって管理者の養成、WebCT による一般向け教育を行っている。また、ネットワークについては F/W、ホスティングサービス、全学電子認証システム等の導入を行っているとの報告があった。

### 4) 「PDCA サイクルの中での「C」（評価）の果たす役割」

情報セキュリティ監査法人の立場から、監査時の事例とよくある問題点が紹介された。監査時の事例としてはパスワードメモ貼り付け、施錠可能であるが施錠していない、情報の重要性分類ができていない、本当にバックアップがとれているか確認していない等の紹介があった。また、よくある問題点として、監査調達スタンスの問題（技術的な観点への固執、お墨付き至上主義、実績づくり）、技術面の問題（セキュリティ要件未定義、バラバラな対策レベル、モニタリング機能の欠如）、内部管理体制の問題（ベンダー依存体制の問題、改善意識の欠落、機能しない組織体制）、制度面の問題（人事異動と教育、予算の制約、責任と権限の限界）が紹介された。PDCA サイクルについては監査を行う場合を例に説明がされ、①外部監査、②内部監査、③品質管理と分けたとき、①活動目的達成の PDCA②業務目標達成の PDCA③作業品質達成の PDCA と各部門によって目標が違うが、どの場合でも C（Check）が重要であるとの説明があった。

## 2. まとめ

今回の講演は技術的なものを扱ったものではないが、大学教授、弁護士、実務担当者、監査法人とそれぞれ違う立場からみたセキュリティ情報や実際の事件等が紹介され、セキュリティに関する包括的な状況を把握するには大変有意義なセミナーであった。